

人事異動あいさつ



事務次官

やなぎ たかし
柳 孝

9月1日付で、文部科学事務次官を拝命いたしました。

GIGA スクール構想の推進、いじめ・不登校等への対応、部活動の地域連携、35人学級の計画的な整備や小学校高学年の教科担任制の推進、また学校における働き方改革など目下の課題にしっかりと対応しつつ、新しい時代にふさわしい質の高い教育の実現に取り組んでまいります。

来年4月には、こども家庭庁の設置が予定されています。密接な連携を図りつつ、未来を見据え、必要な施策にしっかりと取り組みながら初等中等教育の更なる充実に努めてまいります。

引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



文部科学審議官

はくい よしのり
伯井 美德

9月1日付けで、文部科学審議官を拝命いたしました。

前職の初等中等教育局長在任中には、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、子供たちの学びを止めず、保障してゆく中においても、GIGAスクール構想の推進、学校における働き方改革の推進、いじめ・虐待対応の徹底等、様々な課題に取り組んでまいりました。

次世代の振興・発展に向けて文部科学省の果たす役割は極めて重要であり、取り組むべき課題は多いと思いますが、文部科学審議官として省内の全体調整を担いながら、与えられた職務に全力で取り組んでまいります。

皆様方のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



文部科学審議官

ますこ ひろし
増子 宏

9月1日付けで文部科学審議官を拝命いたしました。

前職の高等教育局長在任中は大変お世話になりました。

文部科学審議官として、主に研究3局の政策を中心に仕事をさせていただくこととなりますが、国際卓越研究大学の選定や若手研究者支援の抜本的強化、カーボンニュートラル実現に向けたグリーンイノベーションの推進など、科学技術だけ見ても課題山積です。

未来を切り開く文部科学行政の一翼を担い、現場の声に耳を傾けながら、全力で職務に取り組んで参ります。

皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



大臣官房 学習基盤審議官

てらかど しげちか
寺門 成真

9月1日付で、大臣官房学習基盤審議官を拝命致しました。
「学制」発布 150 年を迎えた本年に際し、功績を引継ぎ、激しい変化の中で次代を見据え、教育の一層の振興を図る重要性を痛感致します。
所掌である GIGA スクール構想、学校における働き方改革、教科書、生徒指導等の重要政策課題への着実な対応を通じて、学校教育の進展に、菲才ながら全力を尽くす所存です。
教育委員会各位のご指導・ご鞭撻の程をお願い申し上げます。



総合教育政策局長

ふじえ ようこ
藤江 陽子

9月1日付けで、総合教育政策局長を拝命いたしました。前職は(独)日本学生支援機構で1年、コロナ禍での学生・留学生支援に、その前はスポーツ庁で4年間、子どもの体力向上や部活動改革、スポーツを通じた地域振興等々に携わりました。
学制 150 年の節目、そして次期教育振興基本計画を策定するという要の時期の着任であり、教育のこれまでの歩みを振り返りつつ、これからの教育を考えていく責任を改めて感じています。総合教育政策局では教員の養成・採用・研修、コミュニティスクール等を通じた学校と地域の連携・協働、学校安全の確保、外国人児童生徒への教育、教育 DX の推進、全国学力・学習状況調査の実施等々を担当しており、現場の実態や、皆様の声を踏まえながら、全力で取り組んでまいります。皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



総合教育政策局政策課長(命) 社会教育振興総括官(命) 教育課程総括官

もりとも ひろし
森友 浩史

9月1日付けで総合教育政策局政策課長(命)社会教育振興総括官(命)教育課程総括官を拝命いたしました。前職では、独立行政法人教職員支援機構で、これからの教員研修の仕組みづくりに携わっていました。平成7年に入省したときに、当時の生涯学習局生涯学習振興課の係員として、その後、平成23年に生涯学習政策局政策課教育改革推進室長として配属されましたので、今回が3回目の配属になります。
政策課としては、第4期の教育振興基本計画を来年策定すべく、現在、中教審の特別部会でご審議いただいているところであり、10年前に第2期の計画策定に携わった経験も踏まえ、職務を遂行してまいります。総合教育政策局も様々な政策課題があります。微力ではありますが力を尽くしてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



初等中等教育局長

ふじわら あきお
藤原 章夫

9月1日付で、初等中等教育局長を拝命いたしました。

昭和62年に入省して財務課に配属されてから、数えてみると今回で初等中等教育局の勤務は9回目となります。これまで教職員定数の改善のほか、教育基本法・教育三法の改正や総合教育会議の創設等の教育委員会制度改革などに携わってきました。

この度は約5年ぶりに初等中等教育局に戻ってきましたが、この5年間でGIGAスクール構想やコロナ対応などで教育現場が大きく様変わりしていることを改めて認識しています。

これからの学校教育のさらなる発展のためには、GIGAスクールをしっかりと現場に根付かせるとともに、教師の働き方改革を進め教職を魅力あるものとしていくことが喫緊の大きなテーマです。また、共生社会の実現に向けて特別支援教育の充実を図るとともに、深刻さを増しているいじめ・不登校等の問題への対応を改めて抜本的に強化し、子供たちのいのちを守り自殺を防ぐ対策を進めることが極めて重要と考えています。各都道府県・市町村の教育委員会の皆様方と緊密に連携をとりながら課題に取り組んでまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。



初等中等教育局幼児教育課長 (併)内閣府子ども・子育て本部参事官 (併)内閣官房内閣参事官

ふじおか けんいち
藤岡 謙一

8月22日付けで幼児教育課長を拝命いたしました。これまで教員の働き方改革や資質能力の向上など、初等中等教育に関わる業務に多く携わってきました。また、岐阜県教育委員会や横浜市立旭中学校長に出向し子供たちと直接触れ合う経験ができました。子供の数は第2次ベビーブーム世代の私の頃は1学年200万人以上でしたが今は約80万人に減少し、共働き世帯は約7割を占めています。子供たちの幸せのため、これからの時代にふさわしい幼児教育を考え、一歩でも近づけるよう尽力したいと思います。御指導、御鞭撻どうぞよろしくお願いいたします。